

住みよい

まちづくりを サポートします

まちセンの新たな取り組み



区内に7カ所ある「まちづくりセンター」(まちセン)。平成16年に、「連絡所」から名称を変更し、住民票の取り次ぎなど市民サービスの身近な提供の場から、さらに地域に密着し、地域の課題解決活動のサポートをする場へと機能を広げました。

まちづくりセンターになってから、3年が経過し、地域の活動も非常に盛んになってきています。今回は地域主体の活動を側面からサポートするまちづくりセンターの事例の一部をご紹介します。

各まちセンでは、地域のお話を伝える「地域情報誌」を発行しています。

この地域情報誌は、地域内で回覧しまちセンで配布するほか、手稲区のホームページにも掲載しています。

手稲区ホームページ「ていねっていいね」まちづくりセンターのページ

URL http://www.city.sapporo.jp/teine/machi_center/

情報誌は、各まちづくりセンターのページの下部にPDF形式で掲載しています。



▲コック姿の所長に子どもたちは大喜び

加します。『味の教室』では小さなカップに入った食品を味見しながら、甘味、酸味、塩味、苦味などを感じたり、精製塩と自然塩、昆布とかつお節で作った吸い物とうま味調味料で作った吸い物などのブラインドテストに挑戦しました。

また、児童会館とタイアップして行われた食育講座「遊星キッチン」は小学生が対象。子どもたちは大好きなハンバーグやマヨネーズ作りにチャレンジしました。どの講座も、調理師免許を持つまちセン所長が講師を務めました。

星置地区では、福祉のまち推進センターとまちセンが協働し、食育の取り組みを進めています。食育とは、生涯を通じて健全な食生活を送るため、食について考える習慣や知識などを学んでいくもの。

昨年からはじめた食育講座「おいしい教室」は、『味の教室』と『料理教室』の2部構成。親子で楽しく参

食育



▲マヨネーズ作り
「まだまだかなあ」



▲「ハンバーグとサラダ、上手にできました!」